

地区推(地 区 営 農)の意見を集約

来年度施策の市長要請に反映へ

福知山市農業委員会

福知山市農業委員会は、市内の地区営農推進協議会(市内248集落をカバーする21組織、「地区推」と略)の意見を集約。同市の来年度予算の検討が始まる8月に「農林業施策及び予算に関する要請」を取りまとめ、市長要請を行う準備を進めている。

同市では、地区推の会長に農地利用最適化推進委員が就任。集落の農区長(＝農業委員会補助員)や関係団体と協力して、「地域計画」の策定など地域農業振興の取り組みを推進している。

今月、各地区から、担い手への支援や農地保全対策、有害鳥獣対策などの要望が農業委員会に提出された。

今後、役員会での検討を経て、8月上旬の総会で要請文の内容を確認。同月中に市長に提案する予定だ。



福知山市農業委員会は、毎年8月、市長に「施策及び予算に関する要請」を提出している

長年の農委会活動功績たたえ

26日開催の府農業会議総会で表彰

第125回京都府農業会議総会(6月26日開催)の表彰式で、農業委員会組織の委員として長く活動された方(現職を含む)の表彰が行われた。

【京都府知事表彰】

(敬称略)

▼京都市：中村安良
長岡京市：岡正樹、宇治市：辻四郎、山本晃一郎、小島佳剛、水谷修
京田辺市：喜多義治、井手町：西島登、寺島正昭、中坊陽、笠置町：田

中長三、巽秀男、田中豊次、西岡良祐、谷川周平

▼精華町：太田廣之、南山城村：内藤芳男、西村秀俊、綾部市：大山勇

農業会議：牧克昌

【京都府農業会議会長表彰】(敬称略)

▼京都市：端清隆、岡本弥一郎、長岡京市：中川幸夫、松井勝正、大山崎町：小泉享、宇治市：井内英樹、北浦莊平、中西秀友、中林和夫、久御山町：内田孝司、林吉一

▼八幡市：西川吉之、京田辺市：香村侃彦、山下明子、宇治田原町：上田明男、光島莊次、橋本茂

▼笠置町：谷川優、有田康善、精華町：中川茂成、南山城村：小西眞理子、中窪耕司、上仲弘之、石川信一、京丹波町：北村和夫、下村虔、浅井明美、綾部市：鎌部勉

武、舞鶴市：植和田英子、伊根町：小原澄晴、藤原正人、櫻尾夏男、村井英敏、京丹後市：高杉和男、金羽廣明、農業会議：宅間敏廣、桂明宏

京 都

京都府支局
京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075・441・3660

市町村長に意見提出

農業者の意見集約

全農業委員会で実施を！

すべての農業委員会が地域計画策定に向けた地区連の活動を通じて「農業者の意見集約」を行い、「施策改善の意見書」を市町村長に提出して農家の要望を施策に反映させる全国運動が全国農業会議所から提起され、本年度の取り組みがスタートした。

来年度以降、地域計画実現に向けた利用権設定や地域計画の随時見直しなどが本格化し、市町村と農業委員会の体制強化が全国共通の課題となっている。そこで、本年度は、全農業委員会から市町村長に「必要な体制整備」の意見書を提出することを農業会議から提起している。



京田辺市では、農業委員会が各集落で地域計画の話し合いを推進し、農家の意見を集約した意見書を市長に提出している

「農業経営よろず相談会」を開催

来月 23日：京田辺市、29日：福知山市

京都府農業会議は、7月23日と29日の2日間、府内2会場で「農業経営よろず相談会」を行う。法人化、人材育成、販路開拓など、農業経営に関する相談に中小企業診断士などが無料で対応し、内容に応じて税理士や杜労士などの専門家派遣を行う場合もある。

会場は7月23日が京田辺市(中央公民館)、29日が福知山市(中丹勤労者福祉会館)。午前10時～午後4時15分の間で、事前予約制で1人90分まで相談できる。

相談会の問い合わせや申し込みは、農業会議のホームページ、または075・417・6847まで。

若い後継者2人と

地域の農業を支える

上六人部地区で11年前に就農した足立佳貴さん(37)は、約1畝の水田とハウス4棟で、伏見とうがらし、キュウリ、小松菜、インゲン、ナスなどを生産し、市内の学校給食とブランドなどに出荷している。

この間、若い就農希望者2人を雇用し、後継者として育てながら経営を軌道に乗せた足立さん。「息子2人(小学

5年と3年)が勉強や習い事で忙しくても収穫を手伝ってくれるので、農業を始めて本当によかった」と話す。

農業が好きな若者は必ずいるので、地域に若い農業者がもつ増えるように、足立さんのさらなる活躍に期待している。

(福知山市農業委員会、荒賀淑子委員・大隅美委員)

福知山市 足立佳貴さん

農deきらきら



キュウリを収穫する足立さん



女性委員が「つないで発信」

南山城村田山地区の北 周囲にある畑で栽培した松泰子さんと森西昭代さんは、定年退職後、生涯現役で野菜作りに励んでいます。2人とも自宅の

周囲の畑を有効活用！

「お客さんの声を励みに、お父さんが残してくれた畑を守っている」(北松さん)、「小さい頃から畑を守るのは当然ですし、近所で、野菜のおばあちゃん」と慕われ生きがいを感じる(森西さん)と2人は話します。

家の周囲の畑が荒れると地域の景観が悪化し、野生動物のすみかになります。各戸が周囲の畑を活用すれば大きな力になるので、「今ある畑を大切にしたい」という彼女たちの思いを大切にしながら、所有者が異なる場合でも周囲の畑を有効活用できるよう、農業委員として努力していきます。

(南山城村農業委員会・福中聖子委員)



直売所で野菜を紹介する森西さん

生涯現役で励む野菜作り

業委員会・福中聖子委員)